

様々な地域課題に取り組む市民公益活動を支え、共に動く

福島と隣り合ういろいろなまちで、
さまざまな市民公益活動を行う団体が、地域を超えて支え合いながら、
自立・自律の心意気を持って活動を行い、
そこに集う人たちも安心して活動できる—そんな市民社会の応援団になりたいと願っています。

2010 年度

(2011 年 2 月 25 日～2011 年 9 月 30 日)

特定非営利活動法人 **市民公益活動パートナーズ**

事業報告書

ごあいさつにかえて—2010 年度を振り返って

市民公益活動パートナーズ代表理事 古山 郁

まず、3月11日の東日本大震災・津波災害及び原発事故の被害にあった、多くの方々や団体に対し、心からお見舞いを申し上げます。

さて、私たちは2月25日に法人登記を終え、設立総会(昨年10月16日)で承認を得た設立年度の事業計画に基づき、4月からの行政年度やその動きも視野に入れながら、具体的な準備に入ろうとしていた矢先、この大災害に遭いました。

幸いなことに、会員のみなさまや私たちの事務所は無事でしたが、災害以前の市民公益活動—組織運営に対する相談・支援活動や、活動の普及啓発、情報収集・発信などを前面にした取り組みを修正し、この非常時に少しでもできることからという思いで、災害復興支援活動を優先した事業に取り組んできました。もちろん、民間中間支援組織としての本来の役割を見失うことのないよう心掛けていますが、復興への道のりは長く困難なものであり、2011年度も引き続き、復興支援活動を通じた地域課題の解決に向けて、活動を進めていきます。

会員のみなさまには、今後ますますご支援、ご協力いただくことになると存じますが、よろしくお願い申し上げます。

市民公益活動パートナーズ

(1) 寄付

法人設立に伴う寄付と、東日本大震災・津波災害及び原発事故からの復興支援に伴う寄付が3件あり、合計155,000円の支援をいただきました。

(2) 会員

2011年9月末日現在の会員(設立発起人)は13名。大災害の影響を考慮し、勧誘を控えましたが、新年度からは、この総会資料やパンフレット等を活用しながら積極的に会員拡大を行いたいと考えます。

(3) ボランティア

東日本大震災・津波災害及び原発事故災害からの復興支援活動の一環である「本箱プロジェクト」を通じ、福島市内の大学生を中心に50名が登録。当法人のイベントや、会員の関連団体などでの各種イベント、復興支援活動(相双地域・後方支援プロジェクト)などで、登録者はもちろん、社会人から単発での参加もあり、のべ94名が活動をしてくださいました。



設立総会に諮った事業計画の修正について

2010年10月16日設立総会に提出し、承認された事業計画は以下の通りでしたが、法人登記(2011年2月25日)直後に、東日本大震災・津波及び福島原発事故が起きました。これに伴い、平常時の事業を遂行することは到底困難な状況であり、災害復興支援活動を中心に活動を進めていくこととしました。

この2010年度事業計画を大幅に修正することに関しては、2011年5月8日に開催した2010年度第2回理事会に諮り、承認を得ました。また、この際、災害復興支援活動を中心としながらも、市民公益活動の啓発、NPOの組織運営等に係る相談や研修などを通じ、民間の中間支援組織として自らのミッションに相応した事業(活動)を行うことを改めて確認しました。

<参考 「設立当初の事業年度の事業計画」から>

1. 市民公益活動及び組織運営全般に係る相談・助言・研修等に関する事業
 - (1) NPO 法人設立オープニングイベント(NPO 会計基準の参加型シンポジウム)
 - (2) 元気な事務局長を育てる講座(事務局長スキルアップ: 月イチコース)
2. 市民公益活動の普及併発に係る広報、人・財登録及び情報提供に関する事業
市民公益活動ラウンド会議@南東北
3. 市民公益活動に係る会計基準及び評価に関する普及啓発・調査研究事業
 - (1) 市民公益活動の評価に関する調査・研究
 - (2) NPO 会計基準について学ぼう(セミナー)
4. 監査・監事業務の啓蒙事業 監事学のすすめ(セミナー)
5. 前各号に係る協働の企画提案・ワークショップの企画運営・情報の収集及び発信に関する事業
 - (1) 事務局業務連携支援(ツカエマッセ事務所)
 - (2) 会員レター発行(半年2回)
6. その他、(定款)第3条の目的を達成するために必要な事業 事務機貸出サービス

2010年度事業について

<自主事業> 市民公益活動促進支援事業

(1) ふくしま復興塾

東日本大震災・津波災害及び原発事故からの福島県における復興活動を通じ、これからの地域づくりやコミュニティ再生を実践・支援しようとするNPO法人や市民活動団体等の有志の集いとして立ち上げました。

被災地や市民の支援に関するニーズの把握、復興に向けての情報集を行い、時には緩やかな連携を視野に入れながら、毎回のテーマに沿った話題提供者を招き、話を聞いたり、共に解決策を考えたりしながら、具体的な復興活動へのきっかけとなることを目指しています。

Ver.	テーマ	開催日	開催場所	話題提供者	参加者
1	復興まちづくり経験者の報告 —中越地震の復興スキーム・連携、支援員制度を参考に—	5月23日	福島市市民活動 サポートセンター	石塚 直樹さん 日野 正基さん (社)中越防災安全推進機構 復興デザインセンター コーディネーター	13名
2	東日本大震災・記録」ノートのすすめ —損害賠償で困らないための備え—	6月17日	福島市市民活動 サポートセンター	松田 英明さん 北欧から学ぶふくしまの会	11名
3	南相馬市の被災の現状と、これからの支援活動 —福島市避難者支援活動の報告も併せて—	6月25日	福島市市民活動 サポートセンター	郡 昌弘さん 南相馬市市民活動サポートセンター事務局 藤原 純さん NPO法人いざかサポートスクエア	4名



(2)「浪江のこころ」プロジェクトへの取材協力

双葉郡浪江町の月刊広報誌「広報なみえ」の特集ページ「浪江のこころ通信」記事の取材活動を行っています。この特集は、東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(仙台)(高崎経済大学櫻井研究室(編集責任者))を中心とした全国のNPOや大学が協力・連携し、福島県内外に避難している浪江町民の方々を訪ね、災害当時の避難の様子や今の暮らし、浪江町への思いなどをお聞きし、写真と記事の制作に携わっています。

現在は県内の活動をまとめる元気玉プロジェクト(会津若松)との協力体制のもと、役員全員が第2号(7月取材)・第3号(8月)・第4号(9月)に関わりました。

(3) 市民公益活動及びNPO相談

①助成金情報の提供および申請書に係る相談

メンバーが関わる団体や日頃コミュニケーションのある団体などから、東日本大震災・津波災害及び原発事故災害からの復興支援活動に関する助成金情報の提供や申請書の書き方などの相談がありました。

- ・NPO 法人まごころサービス福島センター
- ・福島県子ども劇場おやこ劇場連絡会

②NPO 法人設立相談

会津地方の地域づくり団体や福島市内のまちの賑わいづくりに取り組もうとする有志、食べ物のしくみづくりに取り組む団体などからNPO 法人設立の相談がありましたが、今回の大災害の影響を受け、その後、相談業務は延期となっています。



<助成事業>

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業

「相双地域・後方支援プロジェクト～三重苦からの生活再建を支えるために～」

地震・津波災害の被災地でありながら、原発事故により復興が立ち遅れた相双地域の災害復旧や生活再建活動を支援するため、福島市に後方支援ステーションを設置し(当法人事務所内)、被災地の復旧活動と被災者の暮らしや心を支える継続的できめ細やかな支援を目指すことを目的にしています。

◆事業実施期間:2011年(平成23年)4月20日～12月末頃/約8ヶ月間

上記助成事業は、既に活動を開始しており、その活動に係った経費を支援するものです。

◆事業費:188万円(7月22日決定通知書)

◆事業のための人件費確保:1名分

◆主な事業内容(実施予定も含めます)

相双地域及び県北地域の仮設住宅等に居住する被災者に対し、①災害復旧、②生活再建、③心のケアの3つの支援の柱を設け、中間支援NPOとしてボランティアコーディネイトとマッチングをベースに、県内外NPO団体や企業等とも協働しながら、特に支援の手が入り難い障がい者や高齢者に配慮を付け加えた支援活動を進めることを目指しています。

①災害復旧支援活動「とんボラ」

日頃からコミュニケーションがある南相馬市を中心に、福島県内外から集まるボランティアの拠点を福島市内に設置し、被災地の支援ニーズを受け止めながら、日帰りボランティア(とんぼ返りボランティア)の派遣を図ります。

9月26日(月)朝日座お掃除ボランティア(南相馬市) 参加者12名

受入:朝日座を楽しむ会

協力:NPO 法人いいざかサポーターズクラブ

飯坂温泉旅館「花の湯」(ボラバス提供)



②生活再建支援活動「ねこボラ」

特に県北地域において、避難所から仮設受託への引っ越しや支援物資の搬送など、ちょっとしたお手伝い(猫の手も借りたい)をボランティアとして募り、生活再建支援の一助を図ります。

また、これからの避難生活、帰町後の生活再建のための勉強会も行いました。

「東日本大震災・記録ノート」のすすめ—損害賠償で困らないための備え

7月14日、特定避難勧奨地点に指定された伊達市霊山町小国地区で開催しました。

講師は、松田英明さん(当法人監事)、参加者約50人。

③“いつもの暮らしに戻る心のケア”支援活動「ころボラ」

◇本箱プロジェクト

・全国から本の提供を受け、仮設住宅集会所を中心に活動

野間公民館図書館(神奈川県相模原市)をはじめ、関西大学文学部図書館ボランティアグループ「あくせす・ぽいんと」、DCI日本(NGO組織)



や神戸子どもと教育ネットワーク、田中大毅さん(滋賀県の大学生)、三浦郁子さんや鈴木陽さん、ボランティアに参加している学生さん方などから、合わせて約1万冊をご提供いただき、主として仮設住宅・集会所への配本と定期交換を続けています。

・学生を中心としたボランティアさんによる配本及び定期交換準備

現在、学生(桜の聖母短大、福島学院大 48名、社会人2名 計50名)登録。授業や仕事の合間に福島事務所・仕分けルーム(当ビル3階/9月から地階倉庫を賃借)にて、図書館蔵書のラベル剥がしや簡単な本の掃除、カテゴリ別の仕分けや本箱に使用する段ボールづくりなどの作業に、積極的に関わっていただいています。



配本先(応急仮設住宅集会所)	所在地	配本・交換
桑折駅前応急仮設住宅・第2集会所	伊達郡桑折町字東段30	5、7、8月
笹谷東部応急仮設住宅・東集会所	福島市笹谷字片目字清水	7月
〃 ・西集会所		7月
西町第1仮設住宅	南相馬市鹿島区西町	9月

◇ふくしま復興支援「笑顔はたのしいことから生まれてくる」プロジェクト(人形劇イベント)

8月9日 大人のための人形劇「猫夜嘶」参加者50人

8月10日 震災復興支援・おやお招待公演「くわえパペットステージ」参加者80人

出演者:つげくわえさん、なかむらまさたかさん(活動拠点は京都市)

会場:こむこむ館・わいわいホール(両日共に)

福島原発事故の影響により子どもたちは表で遊ぶことができず、母親や祖母たちは子どもたちを室内で遊ばせる工夫が必要となっており、そういった精神的な不自由さを癒すことを目的に、大人向けと子どもたち(親子を対象)向けの人形劇の上演を行いました。



<参照 ボランティアさん方の活動ー「本箱プロジェクト」以外でも活躍いただいています>

イベント名	実施日	実施主体	参加人数
桑折町仮設住宅 PR 取材	6月26日	パートナーズ	2名
応急仮設住宅アセスメント調査 (笹谷東部他、福島市北西部)	7月7日	パートナーズ	4名
飯坂波来湯公園祭り(復興支援)	7月17日	いざかサポーターズクラブ	2名
大人のための人形劇「猫夜嘶」	8月9日	パートナーズ	6名
「とんぼラ」ツアー南相馬市	9月26日	パートナーズ	5名

<受託事業>

福島県緊急雇用創出事業「がんばろう福島の企業！新規創業支援事業」

「地域コーディネーター育成研修事業」

以前より大きな地域課題となっているコミュニティ再生に加え、東日本大震災・津波及び原発事故による被災地域と避難者受入地域等における新たなコミュニティの編み直しなどに積極的に取り組む、地元のお世話役—地域コーディネーターを育てることを目的にしています。

◆事業実施期間:2011年(平成23年)7月1日～2012年(平成24年)3月31日/約9ヶ月間

◆事業費:5,678,593円(消費税込)

◆事業のための新規雇用者:2名

◆主な事業内容(実施予定も若干含めます)

◇OJT研修

・県北北部及び相双地域・仮設住宅第1次アセスメント活動

(住宅環境の評価、一部住民への住環境に対する聞き取り調査など)

実施期間:7月～8月上旬 合計32件/訪問・調査した応急仮設住宅

・テレビ電話を利用した健康相談の視察

9月20日南相馬市小池第3応急仮設住宅/協力:NPO法人実践まちづくりさん

◇専門研修

10月から地域コーディネーター研修会(基礎編・ワークショップ編・広報デザイン編)開講を予定。かつ、事業担当スタッフやNPOでの勤務経験の浅い事務局スタッフなども加え、内部研修(「基礎の基礎」編)も予定しています。



<補助金交付事業 事務局が当法人>

福島県地域づくり総合支援事業・地域協働モデル事業(新しい公共支援事業)

「伊達桑折×双葉浪江=交流と賑わいづくり応援プロジェクト」

※この事業は、地域活動団体などと県市町村を構成員に含む協議体で実施するものです。従って、「伊達桑折×双葉浪江=交流と賑わいづくり応援プロジェクト連絡協議会」を設立し(9月15日桑折町第一会議室にて開催)、事業を進めています。

連絡協議会構成団体:桑折町・浪江町・(社福)浪江町社会福祉協議会・桑折駅前高級仮設住宅自治会・(特活)いざかサポーターズクラブ・(特活)まごころサービス福島センター・(特活)市民公益活動パートナーズ 以上7団体

桑折町仮設応急住宅で生活再建を図る双葉郡浪江町民の自立を支援するコミュニティサービス・ビジネス(CSB)等の担い手を育成するとともに、浪江町と桑折町民との交流を創り出し、「おたがいさまバザール」「ホタぽん」を通じた新たなまちの賑わいづくりに取り組むことを目指しています。

◆事業実施期間:2011年(平成23年)8月26日～2012年(平成24年)3月31日／約7ヶ月間

◆事業費:3,490,000円(消費税込)

◆事業のための新規雇用者:2名

◆主な事業内容(今後の実施予定も若干含まれます)

1. 桑折町民と浪江町民の交流促進及び新たなまちの賑わい創出事業

- ・「まちなかサロン」を核とした mini イベントや夜学の開催と、月刊「おたがいさま新聞」の発行
- ・おたがいさまバザール×地域クーポン券「ホタぼん」の仕組みづくり

2. 浪江町の早期帰町への支援及び桑折町と浪江町の新たな関係づくり支援事業

- ・原発事故損害賠償請求に関する勉強会

3. 新しい公共の担い手となるコミュニティサービス・ビジネス(CSB)人材育成事業(勉強会)

◇9月の主な活動

自治会役員会への支援とアドバイス(適宜)

仮設住宅に居住する方々の抱える現状と課題について、自治会役員会に同席しながらニーズ等を把握するとともに、中間支援 NPO として自治会の運営等についても適切な支援と助言を行えるよう、また、連絡協議会からの事業提案や相談は都度投げかけを行うように努めています。



事務局の記録

各種研修・会議などへの参加について

種別	名称	開催日	会場	主催	参加者
研修	語り部と田楽を楽しむ会	3月27日	丸滝(福島市飯坂町)	NPO法人 いざかサポーターズクラブ	理事 古山郁 監事 松田英明
	ふっこうカフェ	5月2日	東北大学片平キャンパス		理事 古山郁 監事 松田英明
	NPO会計税務講座	8月3日	みやぎNPOプラザ	NPO法人杜の伝言板ゆるる	事務局 武川敏子
	第31回こども緊急サポートネットワーク事業・スタッフ会員養成研修会	9月10、 11、17、 18日	福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)	NPO法人 まごころサービス福島センター	事務局 阿部美奈

種別	名称	開催日	会場	主催	参加者
会議等	ふくしまNPO・市民活動団体連携復興プロジェクト会議(ふくふく会議) 設立総会	5月19日	福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)	ふくふく会議(事務局:NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター)	理事 古山郁
	「新しい公共」推進会議・震災支援制度等ワーキング・グループによるヒアリング	6月3日	ビッグパレット(郡山市)	内閣府、福島県	理事 佐藤玲子
	福島県県民運動支援基金 第1回運営委員会	6月7日	福島県庁(東庁舎)	福島県文化振興課	理事 古山郁
	ふくしまNPO・市民活動団体連携復興プロジェクト会議(ふくふく会議) 幹事会	6月24日	福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)	ふくふく会議	理事 古山郁
	東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)現地会議in福島	6月19日	福島県社会福祉協議会	東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)	理事 古山郁 理事 佐藤玲子
	ふくしま連携復興センター設立会(及び法人設立宣言)	7月20日	福島大学経済経営学類棟	ふくしま連携復興センター(ふくしまれんぷく)	理事 古山郁
	ふくしま連携復興センター「れんぷく運営会議」	8月18日	ソーシャルネットワークカフェピーなつつ		理事 古山郁
	ふくしま連携復興センター「社会的包摂政策に関する説明会」	8月26日	福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)		理事 古山郁
	ふくふく会議「定例幹事会」	9月7日	ふくサポ	ふくふく会議	理事 古山郁
	ふくしまれんぷく「応急仮設住宅の環境改善のための統合的実装プログラム」	9月22日	中町会館 会議室	ふくしまれんぷく	理事 古山郁
ふくふく会議「定例幹事会」	9月27日	福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)	ふくふく会議	理事 古山郁	
支援組織登録や提供	東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)メンバーリストへの登録、参加	6月初旬	—	東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)	
	ノートPC長期借受(VAIO3台)	7月末	—	日本NPOセンター災害ボランティア活動プロジェクト会議	

事業提案を行った申請先・その結果について

事業の名称	申請先	提出日	結果
ふくしまの「地域力」向上支援事業	福島県文化振興課	3月14日	大震災により中止
花王・コミュニティミュージアム・プログラム2011 福島県復興支援活動プロジェクト(“いつもの暮らしに戻る心のケア”支援活動) 「笑顔はたのしいことから生まれてくるプロジェクト」	花王(株)	5月30日	不採択
赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート」助成事業	(社福)中央共同募金会	6月9日	採択
平成23年度福島県緊急雇用創出事業「がんばろう福島の企業！新規創業支援事業」	福島県商工労働部 産業創出課	6月10日	採択
平成23年度福島県緊急雇用創出事業「がんばろう福島！“絆”づくり応援事業(“絆”づくり支援センター)」 ※相双地域“絆”づくり支援センターへの事業申請	福島県商工労働部	7月5日	不採択
平成23年度福島県地域づくり総合支援事業(地域協働モデル事業)」	福島県県北地方振興局	7月15日	採択
公益信託うつくしま基金災害救援緊急支援コース 第1回 いつもの第一歩を「本箱」から一生活再建に向けたココロ支援プロジェクト 第2回 仮設住宅から始める生活再建支援 —複数市町村からの避難者が暮らすコミュニティ創造プロジェクト 第3回 原発被災からの生活再建—損害賠償請求への『備え』支援プロジェクト	公益信託うつくしま基金	4月14日 5月12日 6月30日	不採択

特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ

本部・福島事務所 〒960-8101 福島市上町 3-4 コマ福島ビル 1階 9号

(福島稲荷神社鳥居向かい)

TEL024-573-8310 FAX024-573-8319

URL <http://partners-npo.jp/> ◆ e-mail info@partners-npo.jp

2011. 12.4.